

No.66

January 2025



SOROPTIMIST®

Investing in Dreams

日本西リジョン会報

Soroptimist International of the Americas
Japan Nishi Region

国際ソロプチミストアメリカ
日本西リジョン

www.sia-nishi.com



SOROPTIMIST®

Investing in Dreams



日本西リジョン会報

CONTENTS

- 01 | ガバナー挨拶
- 02 | 理事挨拶
- 03 |
- 04 | SIA理事挨拶
- 05 | SIA第48回隔年大会
- 06 | 2024年度クラブ研修会
- 07 | Information
- 08 | 周年行事報告
- 09 | クラブ活動報告
- 10 | 2024-2026年期日本西リジョン常任委員会
- 11 | 計報
- 12 | ソロプチミスト日本財団
- 13 | 令和6年 年次贈呈式
- 14 | 編集後記



2024-2026年期 日本西リジョン 役員・常任委員会

2024-2026年期 日本西リジョンテーマ

“女性と女児の夢実現 ～寄りそい紡ぐ絆～”

Dreams Come True for Women and Girls ～Support and Weave Our Bonds～



ガバナー

田中 美保 (SI広島-もみじ)

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は元旦に発生した能登半島地震により甚大な被害がもたらされた上に9月には奥能登豪雨災害と二重の災難に苦しんでいる石川県の皆様、また各地で発生した地震や大雨などにより今なお大変な状況下の被災地、被災者の皆様の一日も早い復興をお祈りいたします。今年こそ平穏で幸多い年となりますことを願わずにはられません。

早いものでガバナーを拝命しまして半年が過ぎました。この間、理事会メンバー、常任委員会は、今期のテーマ“女性と女兒の夢実現～寄りそい紡ぐ絆～”に沿いながら日本西リジョン会員の皆様と共に奉仕を、活動を小さな一歩ずつですが進めてまいりました。先輩諸姉、会員の皆様、事務局の皆様の温かいご協力、ご指導を深く感謝申し上げます。

7月にSIA第48回隔年大会が、アメリカワシントン州ベルビューで6年ぶりに対面式で開催されました。IT化が進み、驚いたのは議案審議投票をデレゲート各自のスマホを使う方法で瞬時に結果が出るという経験をしたのですが、3日間の開催期間中ではやはり直接のコミュニケーションである触れ合い、語り合いの大切さを感じました。日本西リジョンからの出席者が3名と少なく残念に思いましたので、次回2026年韓国インチョンのSIA第49回隔年大会には近い所、すぐお隣です。多くの会員の皆様で参加いたしましょう。

10月のクラブ研修会では、一会場での開催のため一クラブから9名の代表の皆様と短時間ではありましたが、クラブ役員・委員会の職務と関わり合いについてご理解いただく研修をいたしました。クラブに持ち帰られ、クラブの運営・活動にお役立ていただければ嬉しい限りです。

SIAは大きな目標として2031年までに教育を通じて50万人の女性と女兒の夢を応援する戦略的計画をクラブ・ロードマップとして示しています。1.IMPACT（影響） 2.ENGAGEMENT（関与） 3.BRAND RECOGNITION（ブランド知名度） 4.PHILANTHROPY（フィランソロピー）を実施するよう要請されています。

日本西リジョン会員の皆様は、世界的な奉仕組織のソロプチミストであること、SIAの一員であることを念頭に置いて、クラブの実情と地元・地域社会との連携に配慮された活動に、また女性と女兒や子どもたちを応援できる奉仕にも取り組み、知名度アップとリーダーシップを発揮していただき、友情の輪を広げ絆を深められ会員増強につながることを願っております。

4月のリジョン大会、8月のガールズ・サミットに向けて準備を進めております。多くの皆さまのご出席をお待ちしております。元気に会いましょう。



ガバナーエレクト
逢沢 俊枝 (SI岡山)

2024-2026年期ガバナーエレクトという大役を拝命いたしました。
理事会に入り、私たち会員のクラブ運営や活動がスムーズにできるよう、どれほどのすべき業務があるかを初めて知り、その責任の重大さを感じながら、緊張の半年が過ぎました。
わからないことばかりですが、田中ガバナーはじめ諸先輩の皆様、会員の皆様のご指導をいただきながら、今期日本西リジョンのテーマ“女性と女兒の夢実現～寄りそい紡ぐ絆～”を念頭に、皆様のお役に立てるよう努めてまいります。
今年度、規約決議/SOLT委員会、メンバーシップ委員会、ソロプチミスト日本財団委員会の担当をいたします。
皆様のご指導、ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。



セクレタリー
藤井 美由紀 (SI児島)

2024-2026年期セクレタリーの大役を拝命いたしました。
田中ガバナーをはじめ、理事会の皆さま、事務局の若いお二人に助けをいただきながらも、その責任の重さに緊張の日々を送っております。
SI、SIA、リジョンの情報を皆さまに正確でわかりやすくお伝えするように心がけ、自分の役目を精一杯果たしていく所存でございます。
日本西リジョンのテーマ“女性と女兒の夢実現～寄りそい紡ぐ絆～”をガバナーご指導の下に、皆さまとご一緒に、楽しく充実した時間をソロプチミストとして過ごしてまいりたいと思います。また今期は日本西リジョンのハンドブック作成委員会に参加しております。微力ながら一助となるべく努力したいと思います。
日本西リジョンがますます元気になれるようにと願っております。先輩諸姉方の築かれた素晴らしい奉仕に感謝して…。
どうぞよろしくご指導、ご協力をお願い申し上げます。



トレジャーラー

廣田 花江 (SI倉吉)

2024-2026年期トレジャーラーを拝命いたしました。

緊張の中、ガバナーはじめ理事会メンバーの方々の温かいお導きにより、この半年間をつとめてまいりました。

着任後すぐに、会場費、ホテル代、交通費、印刷代、宅配料金、郵便料金など、諸物価高騰が今までに増して、迫ってまいりました。円安、インバウンドの影響が大きく日本西リジョンの活動に影響を及ぼす実態を否応なく知ることとなりました。そして、ここ数年の会員数減少には、驚きを隠せません。皆様からお預かりしている会費、そして貴重なお寄付を如何に運用していくのかを、ガバナーのご指導のもと理事会、事務局、リジョン委員会メンバーと、対話を重ねてまいります。また各所に交渉をし、解決策を見出していく所存です。リジョン運営に支障がなきよう努めてまいりますので、皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。



ボードメンバー

武石 敦子 (SI須崎)

2024-2026年期ボードメンバーを拝命いたしました。

伝統ある組織の一員として、責任を胸に、皆様と共により良い未来を築く活動に尽力してまいります。

これまで諸先輩方が務めてこられた役割の大変さを知り、それらを笑顔でこなされていた偉大さを感じております。私も、何事も笑顔で乗り越えていけるよう努力してまいりたいと存じます。

日本西リジョンのテーマ“女性と女兒の夢の実現～寄りそい紡ぐ絆～”に沿って、田中ガバナーのご指導のもと、女性と女兒が自分らしく生き、夢を実現できる社会を目指してまいります。

2025年8月にはガールズ・サミットが開催されますが、その実行委員長を務めます。女子高校生の夢や希望の力強い一歩を後押しできまう、最善を尽す所存です。

微力ながら、皆様とともに楽しく活動が出来ますように精一杯務めてまいりますので、ご指導とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

SIA理事就任のご挨拶



2024-2026年 期 SIA理事
佐々木 民子(SI西条)

私は人生の丁度半分をソロプチミストとして過ごしてまいりました。組織に所属して教わった決まりごとの大切さや奉仕をすることの深い意義を知ること、そして長い時間をかけて知り合えた知己朋友、一言では言い表せませんがこれらの全てが宝物となっております。一会員としてその時々にも与えられた役割を自己研鑽のために与えられたと感謝しお受けしてまいりましたが、ここに来て驚くような大役をお引き受けすることになりました。不安を抱えながら9月より務めさせていただいております。就任前には暫く叶わなかった対面でのSIA第48回隔年大会が開催され、理事の方々や本部スタッフそして何より対面を楽しんでおられる多くの会員にお会いすることができ眉を開きました。

理事の役割は、

「望ましい成果が得られるよう組織を導きそれが確実に実現されるよう組織に貢献することである」

求められる要綱の中の一つに「～のための代表」ではなく「～の代表」の概念を実践する能力と意志とあります。このことは最初のオリエンテーションで教わります。

また、4つの責務の中に「連盟の大使として会員とのつながりを保つ。リジョンにとっての資源の役割を果たす」とあります。この責務については先輩理事の皆様が私たちに示くださったことを思い感謝いたしております。(SIAポリシー日本語訳参照)

長い時間の経過とともに情報伝達の変化が著しく特に近年のオンライン機能を使つての伝達やAI(人工知能)活用により、ペーパーレス化が進みパソコン内の整理の仕方がより複雑になったことは否定できません。果たしてついていけるのか案じておりますがサポートを受けながら無理をせず理解してまいりたいと思っております。

私たちの活動の目的は、教育や研修の機会を提供することによりあらゆる年齢層の女性の経済的エンパワーメントを後押しすることです。SIAよりそのためのプログラムが提供されております。また会員のためのプログラムもありますので皆様と一緒に理解を深めていきたいと思っております。これまでも活動プログラムや会員用プログラムのウェビナーが開催されました。今後も提供されると思いますので、その時は皆さん受けてみませんか。新たな出会いとアイデアが生まれます。私も新たな出会いに胸を膨らませ努めてまいります。2年間どうぞ宜しくお願いいたします。



SIA 第48回隔年大会

■開催日 2024年7月24日～27日 ■会場 ワシントン州ベルビュー



ハイアットリージェンシー・ベルビュー ビエンナーレ会議の集合写真



オープニング 国旗入場
2022-2024年度 綾部 SIA理事(日本南リジョン)



ボビー・エンダーリン
2023-2024年度
SIA会長



オープニング
フレンドシップ、一般セッション
ミッシェル・バーネット SIA CEO
エグゼクティブ ディレクター



基調講演
チームワークとモチベーションを高める
ロビン・ベニンカー・サ氏による向上心を刺激する
G.R.I.T.:意欲、敬意、革新、チームワーク



ソロビジネスリーダーシップ・フェロー・
プログラム卒業式



会長との交流
(左) ボビー・エンダーリン SIA会長
(中) パラード・モリル・ロレイン ニュースおよびコミュニティ担当部長
(右) ジンジャー・コール SIA次期会長



佐々木SIA理事と
ステファニー・スミス 2022-2023年度 SIA会長



日本西リジョン
(左) 武石ボードメンバー (中) 佐々木SIA理事 (右) 田中ガバナー

Information 次回開催予定

SIA第49回隔年大会

■ 2026年7月22日～25日 ■ 韓国 仁川(予定)



2024年度クラブ研修会

2024年 10月 16日(水) 於 岡山コンベンションセンター 3Fコンベンションホール

12:30 開会

ガバナー挨拶

紹介 リジョン役員

SIA理事

リジョン常任委員会 委員長・委員

歴代ガバナー

出席クラブ登録者数

12:40 SIA理事

就任挨拶および報告

13:00 ガバナー報告および

日本西リジョン指針

13:10 研修

① 会長・セクレタリー・トレジャラー

② プログラム奉仕委員会

③ 財務／奉仕資金委員会

④ 規約決議／SOLT委員会

⑤ メンバーシップ委員会

⑥ 広報委員会

⑦ ソロプチミスト日本財団委員会

15:30 閉会

閉会挨拶

ガバナー挨拶



田中 美保 ガバナー (SI広島-もみじ)



司会
藤井 美由紀 セクレタリー
(SI児島)



佐々木 民子 SIA理事 (SI西条)



研修会会場



2024-2026年期日本西リジョン役員



2024-2026年期日本西リジョン常任委員会



研修風景

閉会挨拶



逢沢 俊枝 ガバナーエレクト
(SI岡山)

Information 次回開催予定

第39回リジョン大会

- 2025年4月24日・25日
- 全体会議：岡山シンフォニーホール
- 晩 餐 会：ホテルグランヴィア岡山
- 分 科 会：岡山コンベンションセンター

2024-2026年期 ガールズ・サミット

- 2025年8月5日
- 岡山コンベンションセンター 3Fコンベンションホール

認証50周年記念式典

2024年10月6日

SI宇部



国際ソロプチミスト宇部は、SI京都のスポンサーにより、1974年10月11日に国内で42番目、県内では3番目クラブとして発足、そしてこの度認証50周年記念式典・祝宴を開催いたしました。山口県副知事、宇部市長、山陽小野田副市長をはじめご来賓の皆様及び県内外の姉妹クラブの皆様総勢100名のご出席を賜り、滞りなく挙行出来ましたことを心より感謝申し上げます。

認証50周年記念事業として、建設中の宇部市役所新庁舎2期棟で使うデジタルサイネージ(電子看板)、宇部市立図書館に設置する大型絵本棚や紙芝居演台、山陽小野田市の子育て支援施設に置く遊具の設置費用、山口女性サポートネットワーク、宇部市里親会、一般社団法人キッズラップ等9団体に金一封の贈呈をいたしました。

先輩方が育まれた50年という歴史をしっかりと受け止め感謝し、女性と女兒の幸せな希望ある未来に向けて、会員一同力を合わせ、これからも奉仕活動に取り組んでいきます。

認証50周年記念式典

2024年10月24日

SI鳥取



国際ソロプチミスト鳥取は1973年12月9日国際ソロプチミスト京都のスポンサーにより誕生し、2024年10月24日認証50周年記念式典を開催いたしました。

鳥取県知事、鳥取市長はじめ、ご来賓の皆様、日本西リジョン田中美保ガバナー、鳥取県内姉妹クラブの皆様方にご臨席賜り、滞りなく挙行出来ましたこと心より感謝申し上げます。記念事業として、鳥取砂丘こどもの国プールサイドにベンチ4個、鳥取市保育園幼稚園ほか89施設へ大型絵本を贈呈、袋川ふるさとの歌の道(1988年寄贈)の整備。地元に貢献している三団体に「はまなす賞」を贈呈いたしました。祝宴には鳥取市出身の日本舞踊花柳鮎舟さんに長唄「俄獅子」を舞っていただきました。

女性と子どもの生活向上に向け、これからも真心ある奉仕を考え、さらなる発展を会員一丸となって取り組んでまいります。

クラブ活動報告

プログラム

資金調達

一般的知名度

クラブ活動

プログラム

SI倉吉

夢を拓く:
女子中高生のための
キャリア・サポート

■ 2024年10月11日



鳥取県衛生環境研究所にて、木村優子科学衛生室室長による理工系領域における女性のキャリア形成について考える講演を私学湯梨浜学園女子中学生44人とともに受講しました。

仕事と家庭の両立の工夫、興味ある分野を選択し進むことなど女子中学生へのエールとなるお話でした。

施設見学、食用色素液の分離実験も体験し、充実の1日となりました。キャリア育成事業を行うことで、夢の実現への応援となればと願っています。

プログラム

SI笠岡

夢を拓く:
女子中高生のための
キャリア・サポート

■ 2024年11月9日



笠岡市の蒼明学院中等部でキャリア・サポートを開催。

渡辺和枝先生ご指導のもと、生徒20名、教師4名、SI笠岡会員10名が参加しました。中学1年生という最小学年での実践で少し心配もありましたが、活発に意見発表され、感心するばかりでした。生徒達からは「自分の価値観について初めて学んだ。自分の将来の夢、これからの学校生活、そして今後の職業選びに生かして行きたい。」と嬉しい感想をもらいました。

資金調達

SI長門

できることをすぐに!
能登半島地震被災地
への支援

■ 2024年1月23日



2024年1月1日16時10分に発生した能登地方を震源とする地震で被災された皆様に心からのお見舞いを申し上げます。SI長門の会員は10名ばかりですが、「遠くにいる私たちでもできることは?」と、支援の方法を考えました。観光に行くことや被災地で生産されたものの購入等提案されましたが、とにかくすぐにできること!ということで、開催予定の1月例会で会員内のオークションを実施することになりました。僅かな金額ですが、会員の寄り添う気持ちと一緒に支援させていただきました。

資金調達

SI熊野

第16回
チャリティー
コンサート

■ 2024年4月14日



今回はVIOLIZMさんの演奏で「御神木ヴァイオリン〜神祇〜祈り〜と題して開催しました。

満席の会場に響き渡る御神木ヴァイオリンの音色と心に染み入るようなボーカルの歌声に感動して涙を流す人も少なくありませんでした。

また、郷土民謡の熊野音頭を歌った時には会場の皆様と演奏者が一体となって最高に盛り上がりました。ご来場の皆様に喜んでいただけた事は、私達会員の喜びでもあり、また励みにもなりました。

資金調達

SI光

小さなマルシェ

■ 2024年7月8日



「マルシェ(小さな市場)」を開催しました。コロナにより、資金調達が困難になり始めた行事です。手作りのサンドイッチ、おむすび弁当、クッキー、コーヒー、野菜や花etc。

光市内のお店にも協力していただき、パン屋、雑貨、可愛い小物のお店などなど出店して貰っています。今回から、キッチンカーとリラクゼーションのお店にも参加して貰いました。

終了後、出店して下さった方々に国際ソロプチミストの意義を説明し、私たちの活動を知っていただきました。これからも活動の輪を広げて、小さなマルシェを継続していきたいと思っています。

資金調達

SI福山

チャリティー
ランチショー

■ 2024年10月6日



SI福山は今期の収益事業として10月6日にチャリティーランチショーを行いました。今までは夜でしたが今回は昼間にしました。

東京芸大卒の4人の若いクラシック系ボーカルグループ「リアル・トラウム」をお招きしました。とてもステキなグループで、オペラをはじめ日本の古い歌などを歌われました。会場の400人超のみな様にもとても喜んでいただきました。

今回の収益金は女性と女兒のために使わせていただきます。

資金調達

SI下関

第4回
チャリティー
ゴルフ大会

■ 2024年10月8日



今年も下関ゴルフ倶楽部様のご協力により、第4回目となるチャリティーゴルフ大会を開催しました。回を重ねるごとに参加者も増え、今年は118名のご参加をいただきました。当日はあいにくの空模様でしたが、皆様の熱のこもったプレーに後半は太陽が顔を出してくれました。ご参加いただいた皆様のご寄付はもちろん、賞品提供の協賛をいただいた皆様のご厚意を今後の活動に役立てていきたいと思っています。

一般的知名度

SIアケアマリン呉

音戸フェスティバル・
マルシェ&バザーに
出店

■ 2023年11月19日



国際ソロプチミストアケアマリン呉のベースの音戸町で、イカ焼き、フランクフルト、スパークリングのお酒、ミシュラン醤油、アクセサリー小物販売、189啓発ティッシュを配り、音戸フェスティバル・マルシェ&バザーに参加いたしました。

一般的知名度

SI大田

視神経脊髄炎 患者会支援 コンサートの後援

■ 2024年1月13日



SI大田では1月13日に石見銀山にある世界一小さいオペラハウス「大森座」にて開催された難病支援のチャリティコンサートに後援いたしました。満席の会場で美しい歌声とピアノ演奏に感動し、視神経脊髄炎の現状と理解を深める機会となりました。罹患者でもあるソプラノの坂井田さんは痛みを押し、ピアノの石井さんと共に活動。売り上げ、寄付金はNPO法人日本視神経脊髄炎患者会に寄付され、患者支援と研究に役立てられます。

一般的知名度

SI新居浜みなみ

認証30周年記念 熊本マリ&阿川佐和子 チャリティーコンサート

■ 2024年5月11日



作曲家のラブレター ～この音楽家に会いたかった～
世界的ピアニスト熊本マリさんが演奏するロマン派ピアノ作品の数々と、愛する人たちへ大作曲家達が名曲と一緒に残したラブレターを、作家の阿川佐和子さんの素敵な朗読でお届けするロマンティックで優雅なひとときを320名の会場の皆様と楽しませていただきました。

一般的知名度

SIイースト愛媛

市制20周年記念 森と湖畔の公園へ 遊具ちびっこ マウンテン寄贈

■ 2024年9月2日



当クラブは、1992年に森と湖畔の公園に寄贈した滑り台が老朽化したので、引き続き「未来を担う幼児たちに寄り添い愛とやさしさを込めて」のもと、新たに滑り台を寄贈しました。9月2日の除幕式は市長、副市長、観光課の方々の臨席のもと盛大に挙行されました。

この日は晴天に恵まれ、地域の幼児の初滑りの歓声とともに爽やかな達成感を味わい大きな活力になりました。末永く思い出の遊具となることを願います。

一般的知名度

SI防府

小林愛実 ピアノコンサート

■ 2024年9月20日



国際ソロプチミスト防府認証40周年記念事業として、チャリティコンサート「小林愛実ピアノコンサート」を2024年9月20日に開催いたしました。

第18回ショパンコンクール第4位入賞の輝かしい経歴をお持ちのピアニストであるとともに、幼少期を防府で過ごされたご縁もあり、ご結婚、ご出産を経てのコンサートを皆で楽しみにお待ちしていました。素晴らしい演奏に、アンケートには、感動と感謝の言葉が溢れていました。

一般的知名度

SI大洲

保育所・保育園への 絵本贈呈

■ 2024年10月22日・
10月31日・11月7日



大洲市、喜多郡の保育所・保育園への絵本の贈呈は、SI大洲が認証されて以来大事に続けてきた奉仕活動の一つです。今年度も会員が手分けして10・11月に行きました。保育所で絵本のプレゼントの後、フォークダンスをしたこともあり、「福祉と健康づくり市民の集い」イベントで、子どもがニコニコして近づいてきて「おばさん、絵本を持ってきてくれた人でしょう」と言われ、感激した思い出があります。

毎回会員は感動をもらって帰ります。いつまでも続けたい活動です。

クラブ活動

SI阿南

ガバナー 公式訪問

■ 2024年5月16日



県内4クラブ合同28名で、ガバナー公式訪問を徳島市クレメントホテルで開催いたしました。

小徳ガバナー、尾長ボードメンバーをお迎えして、メンバーシップについて話し合い、学ばせていただきました。

クラブ活動

SI高梁

7月定例
業務例会

■ 2024年7月17日



心機一転、定例会場を高梁国際ホテルから高梁市図書館に移し、業務例会を開催しました。例会に先立ち、新会員1名を迎え入会式を行い、会員数18名でリスタートしました。

活動スローガンは「新生SI高梁」できることから一歩ずつ。女性と女兒の生活向上を实らせ、地域に根差した奉仕活動に向け、課題意識を持ち、考えを出し合い、無理のない活動を進めることを確認しました。

2024-2026年日本西リジョン常任委員会

委員長は黄色●

プログラム奉仕委員会



仙田 明美 (SI松江) 大江 忍 (SI米子) ●桑原 奈緒子 (SI防府) 丸山 由子 (SIローズ福山)

財務／奉仕資金委員会



佐藤 寿恵 (SI尾道) ●西江 薫子 (SI高梁) 田島 淑美 (SI呉)

規約決議／SOLT委員会



藤木 礼子 (SI福山) ●毛利 千佳 (SIよさこい高知) 野原 康子 (SI観音寺)

メンバーシップ委員会



森脇 岸江 (SI大田) ●松岡 幸江 (SI光) 松井 浩子 (SI広島)

広報委員会



小泉 美恵子 (SI平和広島) ●長野 育子 (SI岡山) 平木 滋子 (SI福山)

ソロプチミスト日本財団委員会



服部 英子 (SIイースト愛媛) ●植松 万紀子 (SI熊野) 吉川 明美 (SI福山)

訃報

謹んで御冥福をお祈り申し上げます。



河野 幸子 会員(SI宇部)

2024年6月5日

2期会長を務められ、40周年年には実行委員長もされ、皆さんから信頼も厚くリーダーシップがとれるソロプチミストの顔でした。ボランティア精神等、我々の良きお手本でした。



三由 登美子 会員(SI下関)

2024年7月11日

チャーターメンバーで、会の為に尽力いただきました。お洒落で、常に穏やかに優しく、温かい笑顔で私達を包んでくださいました。悲しく寂しい思いは消えませんが、今は感謝の気持ちで一杯です。心よりご冥福をお祈り申し上げます。



岩田 知子 会員(SI呉)

2024年8月2日

1989年より35年間在籍されました。毎年開催しているチャリティー茶会をとても楽しみにされており、例会も皆出席され、クラブにとってかけがえのない方でした。会員一同、感謝と敬意を込めてご冥福をお祈りいたします。



古川 幸子 会員(SIミドル香川)

2024年8月24日

チャーターメンバーとして、長年会の為に尽力いただきました。例会には欠かさず出席し、誠実な人柄で会の雰囲気と和やかにし、優しい笑顔を残したまま8月の例会を最後に突然逝ってしまわれました。会員一同ご冥福をお祈り申し上げます。



藤原 フサエ 会員(SI観音寺)

2024年8月29日

会員の獲得にご尽力頂き、源とした姿に美しい歌声、ファッションは会員の憧れでした。会長就任後の訃報に一同驚きと淋しさの限りです。ご活躍に感謝し、ご冥福をお祈りいたします。



漆原 千代子 会員(SIにんびら)

2024年9月11日

1994年よりチャーターメンバーとして30年間、国際ホテル八千代の女将もこなし、常に穏やかなお人柄は会員のまとめ役として尊敬される存在でした。



田中 祝 会員(SI広島)

2024年9月17日

広島クラブが認証された1977年9月19日以来、クラブの核としてご尽力いただきました。いつまでも私達のお手本として心に生き続けることでしょう。ご冥福を心よりお祈りいたします。

ソロプチミスト日本財団 令和6年 年次贈呈式

■ 福岡国際会議場 ■ 2024年11月6日(水)



開会の辞 千 容子 理事長



歓迎の辞
サポーターズクラブ代表
鈴木 幸子 元ガバナー

支援・奨励事業 講評



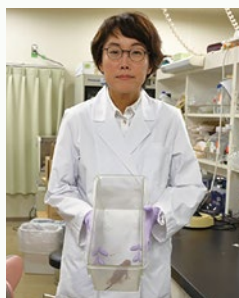
森 正樹 氏
(東海大学副学長・医学部長)

顕彰・援助事業 講評



堀井 茂男 氏
(公益財団法人慈主会
慈主病院 名誉理事長)

女性研究者賞



三浦 恭子 (44)
(SI熊本・すみれ 推薦)

1980年、兵庫県生まれ。小学生の頃、顕微鏡で庭の植物を観察したり天体望遠鏡で夜空を眺めたりしていたが、特に科学に興味があったわけではなく、体を動かして遊ぶ方が好きだった。県内の進学校へ入学するが確たる目標はなく授業をさぼりがちだった。転機が訪れたのは高校3年生の時、化学の先生の授業が面白く、もっと勉強したいと考え奈良女子大学へ進学した。バンド活動にも夢中だったが、就職に有利と考えて高分子化学を専攻。研究室に入りたての頃は面白さがよく分からず実験を苦痛に感じていたが、次第に面白さがわかってきて、音楽よりも企業への就職よりも自分の適性に合ってるかもしれないと思い、本気で研究者の道を目指すようになった。

生物の生と死に興味を持っていた三浦さんは、生命のもとともいえるES細胞を研究したいと考え、2004年に奈良先端科学技術大学院大学のバイオサイエンス研究科へ。後にノーベル賞を受賞する山中伸弥教授主宰の研究室で多能性幹細胞の研究を行い、共に京都大学へ移り、iPS細胞から神経幹細胞を作成する研究を担当。iPS細胞の安全性に関わる重要因子の発見や、iPS細胞由来の神経幹細胞の脊髄損傷モデルへの治療効果の解明などの成果を挙げ、2010年に博士課程を修了し、医学博士を取得した。慶應義塾大学医学部生理学特別研究助教、日本学術振興会特別研究員SPD、科学技術振興機構さきがけ専任研究者を経て、2014年から北海道大学遺伝子病制御研究所講師(テニュアトラック)、2016年から同准教授。2017年から熊本大学大学院生命科学研究部老化・健康長寿学講座の准教授となり、2023年から現職の同教授を務めている。

三浦さんはアフリカ北東部に生息する最長寿命げっ歯類ハダカデバネズミを用いて健康長寿の研究を続けている。マウスより10倍以上長生きであり、顕著な老化耐性と長期観察においてほとんどがんが確認されないという強いがん耐性を持つことで知られており、近年、老化やがん・アルツハイマー病などの予防医療につながるモデル動物として注目されている。先進国においては高齢化が進行しており、日本では医療費や介護費の拡大、医療・福祉現場での人材不足、高齢者やその家族のQOLの低下が問題となっている。高齢者の体内年齢をできるだけ長く元気に保ち「健康寿命」を延伸することが国家の持続的な発展において重要な課題となっている。三浦さんは当財団の支援金で「ハダカデバネズミもしくは長寿哺乳類がもつ抗老化・がん耐性機構を利用した、革新的な健康長寿方法の開発」をテーマに研究を行う。これまでの研究で種を超えて長寿・老化抑制効果をもたらす「健康長寿」遺伝子を同定していることから、解析をさらに進め老化抑制をもたらすメカニズムを解明し応用したいと考えている。

三浦さんは8歳と6歳の子どもの母親でもある。育児は夫と分担しているが、講座の長としての書類仕事や学部・大学院の学務業務などの負担も多く、実験や論文作成など研究に充てる時間は不足しがち。やりくりに苦労するが子どもの成長にとって今は母親と過ごす時間が大事と考え、体力勝負で頑張っている。自身の経験を次世代の女性研究者や学生に伝え、サポートしたいと考えている。

ドリーム賞



葛西 紀明 (52)
(SI名寄 推薦)

1972年、北海道生まれ。札幌オリンピックが開催された年に生まれた葛西さんは、郊外にジャンプ台がある上川郡下川町で雪に親しみながら育ち、小学3年生でスキージャンプを始める。すぐに才能は開花し、ジュニアの国内大会で優勝を重ねた。中学3年生の時に宮様スキー大会国際競技会のテストジャンパーを務め、成年クラスの優勝者より飛行距離が上回ったことで注目を浴びる。スキージャンプ・ワールドカップは、1988/89シーズンの11月に札幌で開催された大会に16歳6か月で初出場し、当時の最年少出場記録を更新。1989/90シーズンから本格参戦している。

1990年前後、飛行姿勢に変革が訪れる。V字飛行の登場だ。深い前傾姿勢が定着していたが、板の先を左右に広げて飛ぶ選手が現れた。この飛行姿勢は当初、両足の板が揃っていないことで飛行点が減点されていたが、ワールドカップで総合優勝する選手が現れたことでV字スタイルを取り入れる選手が増え、減点対象から除かれることとなる。日本では1992年のアルベールビルオリンピックから、V字転向が代表入りの条件となった。葛西さんは、冬期オリンピック初出場となった同大会ではV字飛行への移行準備が整わず個人成績は振るわなかった。しかしオリンピック後に習得してV字スタイルに慣れると成績は再び上昇。オリンピック後のワールドカップ1991/92シーズンの大会で表彰台に立つ活躍を見せた。また、チェコで開催されたスキーフライング世界選手権(兼 ワールドカップ)では金メダルを獲得し、スキーフライング世界選手権で日本人選手初のメダル獲得者となり、同時に、19歳9か月でワールドカップ日本人最年少優勝記録(当時)を樹立することとなった。

スキージャンプ界では30代後半以降も第一線で競技を続ける選手は異例なため、40代になっても競技を続けていた葛西さんは、敬意をこめて「レジェンド」と呼ばれるようになった。選手であり続けること自体に大変な努力が必要とされるが、国際大会で優秀な成績を収めている。ワールドカップの2013/14・2014/15シーズンではそれぞれ優勝しており、現在も最年長優勝記録【42歳+176日】を保持している。また、ワールドカップの最多個人出場【578回】、ノルディックスキー世界選手権の最多出場記録【13回】、オリンピック最多出場【8回】、オリンピック最年長団体メダリスト【41歳+256日】など合わせると、7つのギネス世界記録を保持している。

高校卒業後の1991年に(株)地崎工業(現(株)岩田地崎建設)に入社。(株)マイカルを経て2001年に、創設されたばかりの(株)土屋ホームスキー部へ移籍した。2009年からはスキー部の監督も務めており、ワールドカップで優勝する選手を育てている。現在は社員として営業現場に出ることや会社主催のイベントに参加することの他、札幌市民公開講座の講師として自身の経験を語ることもある。

葛西さんは、今年2月、51歳で臨んだ国内のTVh杯ジャンプ大会で2期ぶりに優勝した。2026年にイタリア・ミラノで開催されるオリンピック出場を目標に努力を続けており、「レジェンド カサイ」の活躍を期待されている。

千嘉代子賞



倉富 彰秀 (68)
(SI久留米 推薦)

1956年、佐賀県生まれ。子どもの頃、米国の医療ドラマ『ベン・ケーシー』を見て、困っている人を助ける青年医師に憧れた。倉富さんは長崎大学医学部に進学し救急病院での研修を経て眼科専門医となり、1994年に佐賀県神埼市で「くらとみ眼科医院」を開業。その翌年に個人でPOSAを設立し、インドにおいてアイキャンピングという形で白内障の無償手術を行う、眼科医療援助活動を開始した。POSAはProject Operation Sight for Allの略で、“すべての人に光を”という願いが込められている。現地の眼科医と共同で取り組んだが個人の力には限界があると認識し、1999年にNPO法人化。2000年からは眼科医が100名ほどしかおらず、富裕層以外は手術が受けられないバングラデシュで活動している。日本で主に70歳以上に見られる白内障は、バングラデシュでは栄養不足の影響で働き盛りの40歳代でも発症する。失明し、職を失うことが死に直結する。倉富さんは現地小学校でビタミンAの投与や寄付をし、角膜混濁が原因の失明予防活動も展開している。アイキャンピングでは1週間に約100人の白内障手術を行う。携わる日本人医師、看護師、視能訓練師は自費参加。現地医師の費用はPOSAが負担する。自主的に参加する医学生や高校生らもあり、倉富さんの活動は人材育成にもつながっている。

社会ボランティア賞



高田ハッピー (54) (SI今治 推薦)

①活動をはじめたきっかけ 2014年8月に始めたそう菜店で、1個のおにぎりを二人で分け合う幼い兄弟に会う。この子どもたちに十分に食べさせてあげたいと思い、同年10月、子ども食堂を開始。

②活動内容 2023年、活動の場を広げるためにキッチンカーを購入。近くの公民館で毎月曜早朝「ハッピーモーニング」を開設し、無料の持ち帰り朝食を提供。20人程の子どもたちが利用している。口コミで子どもたちが集まるようになり、10年で約400人の子どもたちと係わることができた。活動のきっかけとなった幼い兄弟は社会人となり、お米を送ってくれる。人助けの輪が広がることに喜びを感じている。



たあびいちいろの会 (SI益田 推薦)

①活動をはじめたきっかけ 2002年、益田市立図書館の読み語りボランティアをしていた数名が、おはなし会グループを作ろうと声をかけ合い、おもちゃの図書館の関係者も加わり、7人で結成。

②活動内容 出産準備教室での読み語りから活動を始め、保育所、小学校、放課後児童クラブなどで、これまでに約230回のおはなし会を行ってきた。絵本の読み語りや昔話の素語り、手遊びやわらべ歌など、訪問先や会の目的に合わせ、最後まで楽しめるように工夫している。準備や練習の時間調整などで大変なこともあるが、参加者と楽しい時間を過ごすことが活動の原動力になっている。



堤 尚彦 (53) (SI岡山さつき 推薦)

①活動をはじめたきっかけ 1995年、青年海外協力隊としてジンバブエに派遣された際、おもちゃのボールを改造してグローブにしていた少年に出会う。帰国後、中古野球道具を回収し、2000年から途上国に送る活動を始めた。

②活動内容 おかやま山陽高等学校硬式野球部の監督に就任し、部活動の一環として2011年からJICA「世界の笑顔のために」プログラムに参加。道具の回収や寄付を続け、県内外の学校や全国からの協力者も増え、23年間で計3000点以上の野球道具を世界37か国に送ることができた。これからも仲間を増やし活動を続けていきたいと考えている。



岡崎 彰文 (81) (SI西大寺 推薦)

①活動をはじめたきっかけ 農業を営む傍ら、岡山市の青少年健全育成協議会委員に就任し、子どもたちの居場所づくりが必要だと感じた。野菜などを育てて収穫し食べることが自然と触れ合う機会となり、子どもたちの精神面に良い影響を与えると考えて、2007年に「農業クラブせとっ子」を設立し活動を始めた。

②活動内容 毎年10～15家族が、家族ごとの区画に野菜を植え、草取りや成長に合わせた手入れを行っている。自分たちで耕し、食べたい農作物を育て、収穫することが目標。また、自然の中での流しそうめん、芋煮会、タケノコ堀などの活動体験を通して、子どもたちの健やかな成長を願っている。



ソロプチミスト日本財団活動資金援助



にほんご町内会 (SI松山 推薦)



大きな木の下で (SIローズ福山 推薦)



ぶろじえくとえん (SI鳥取 推薦)

受賞者の詳細は、公益財団法人ソロプチミスト日本財団 HP に記載

公益財団法人ソロプチミスト日本財団 HP より引用

編集後記

早春の芽吹きのような若草色の会報をお届けいたします。

原稿をお寄せくださった皆様、編集にご協力くださいました皆様に感謝申し上げます。 日本西リジョン広報委員会

国際ソロプチミストアメリカ
日本西リジョン

*Soroptimist International of the Americas
Japan Nishi Region*

〒700-0907 岡山市北区下石井2-3-8 商工ビル304号

TEL (086) 223-9250 FAX (086) 223-9285

ホームページアドレス www.sia-nishi.com

編集／日本西リジョン広報委員会

[委員長] 長野 育子

[委員] 小泉 美恵子・平木 滋子

印刷／瀬戸内海印刷株式会社